



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月3日

上場会社名 ユアサ・フナシヨク株式会社

上場取引所 東

コード番号 8006 URL <https://www.yuasa-funashoku.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 共之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 石橋 宏

TEL 047-433-1212

四半期報告書提出予定日 2022年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|-----|------|---|------|-------|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期第1四半期 | 28,707 | 7.1 | 232 | | 404 | 429.3 | 285 | 83.0 |
| 2022年3月期第1四半期 | 26,808 | | 77 | | 76 | 51.7 | 1,676 | |

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 278百万円 (79.9%) 2022年3月期第1四半期 1,386百万円 (741.3%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期第1四半期 | 63.45 | |
| 2022年3月期第1四半期 | 373.15 | |

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しているため、2022年3月期第1四半期売上高の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2023年3月期第1四半期 | 56,011 | 32,267 | 56.9 | 7,092.84 |
| 2022年3月期 | 56,694 | 32,305 | 56.3 | 7,100.93 |

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 31,870百万円 2022年3月期 31,907百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|----------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期 | | | | 70.00 | 70.00 |
| 2023年3月期 | | | | | |

(注) 当社は定款において期末日を配当基準日と定めていますが、現時点では2023年3月期末日における配当予想額は未定です。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|---------|-----|-------|-------|-------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 57,000 | 5.3 | 400 | 157.6 | 500 | 35.8 | 350 | 81.3 | 77.89 |
| 通期 | 115,000 | 4.6 | 1,100 | 68.2 | 1,300 | 27.4 | 900 | 61.5 | 200.29 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2023年3月期1Q | 4,897,723 株 | 2022年3月期 | 4,897,723 株 |
| 期末自己株式数 | 2023年3月期1Q | 404,324 株 | 2022年3月期 | 404,313 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 2023年3月期1Q | 4,493,401 株 | 2022年3月期1Q | 4,493,559 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (会計方針の変更) | 9 |
| (セグメント情報等) | 10 |
| 3. 補足情報 | 11 |
| (1) 販売の状況 | 11 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の各種対策やワクチン接種の進展により、少しずつ経済活動は正常化に向かっております。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の動向や、不安定な国際情勢による原材料・エネルギー価格の高騰、急激な円安の進行等、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

食品流通業界におきましては、新型コロナウイルス対策の緩和等により、外食業界の持ち直しの動きが見られるなか、輸送コストや原料高騰に伴う家庭用商品の値上げが相次ぐなど、個人消費回復へのマイナス要素の影響も大きく、企業間競争は引き続き厳しい状況となりました。

ビジネスホテル業界におきましては、国内の新規感染者数が低水準にとどまり、イベント等における制限が緩和され人の流れも増加傾向に推移しましたが、団体客や訪日外国人の大幅な減少が持続するなど、宿泊需要の十分な回復が見込めない環境が続きました。

このような状況のなかで、当社グループは引き続き、地域に密着した営業を展開するとともに、商事部門では物流の効率化、ホテル部門ではお客様と従業員の安全を確保するなかで営業を継続してまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は287億7百万円（前年同期比7.1%増）、営業利益は2億32百万円（前年同期は営業損失77百万円）、経常利益は4億4百万円（前年同期比429.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億85百万円（前年同期比83.0%減）となりました。

事業別セグメントの概況

① 商事部門

商事部門につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響や消費者の節約志向が続くなか、価格競争の激化、物流コストの上昇等、依然として厳しい事業環境となりました。

このようななかで、商品供給を的確に行うとともに、新規取引の獲得、新商材の提案などを積極的に行ってまいりました。

部門別の売上高は、食品では、冷凍・チルド商品、菓子が低調に推移しましたが、加工食品、砂糖が製品価格の上昇により順調に推移し増収となりました。業務用商品では、小麦粉の販売数量の増加・販売単価の上昇、油脂、燃料の販売単価上昇及び業務用食材の順調な推移などにより増収となりました。飼料畜産では、飼料は養豚、養鶏の生産者向け販売数量が減少したものの販売価格が上昇し増収となりました。畜産は成豚集荷頭数が減少しましたが、枝肉の販売単価の上昇により増収となりました。米穀では、精米・玄米の販売数量は増加しましたが相場の下落により減収となりました。

その結果、商事部門の売上高は282億29百万円（前年同期比6.4%増）、営業利益は4億27百万円（前年同期比34.8%増）となりました。

② ホテル部門

ホテル部門につきましては、新型コロナウイルスの新規感染者数が減少傾向で推移するなか、人の移動制限や各種イベント自粛も緩和されるなど、レジャー客を始め企業研修やスポーツ大会等の再開による利用が増加し増収となりました。

その結果、ホテル部門の売上高は4億25百万円（前年同期比86.8%増）、営業損失は88百万円（前年同期は営業損失2億45百万円）となりました。

③ 不動産部門

不動産部門につきましては、賃貸料収入による売上高は53百万円（前年同期比10.6%減）、営業利益は51百万円（前期比10.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ6億83百万円減少し560億11百万円となりました。主な内容は現金及び預金の減少8億78百万円、繰延税金資産の減少70百万円、商品及び製品の増加2億62百万円、未収入金の増加98百万円などによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ6億45百万円減少し237億43百万円となりました。主な内容は支払手形及び買掛金の増加4億3百万円、未払法人税等の減少10億85百万円などによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ37百万円減少し322億67百万円となりました。主な内容は利益剰余金の減少29百万円などによるものです。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは△4億90百万円（前年同期比4億8百万円の収入減）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益4億4百万円、棚卸資産の増減額△2億66百万円、仕入債務の増減額4億3百万円、法人税等の支払額△10億74百万円などによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは△63百万円（前年同期比30億65百万円の収入減）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出66百万円などによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは△3億35百万円（前年同期比0百万円の支出減）となりました。これは主に配当金の支払額△3億14百万円などによるものです。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物の四半期末残高は前連結会計年度末から8億83百万円減少し106億66百万円（前年同期比13億38百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 11,590 | 10,711 |
| 受取手形及び売掛金 | 14,427 | 14,380 |
| 商品及び製品 | 1,653 | 1,915 |
| 仕掛品 | 24 | 27 |
| 原材料及び貯蔵品 | 287 | 289 |
| 未収入金 | 3,754 | 3,852 |
| その他 | 54 | 82 |
| 貸倒引当金 | △31 | △30 |
| 流動資産合計 | 31,759 | 31,228 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 10,868 | 10,869 |
| 減価償却累計額 | △8,320 | △8,376 |
| 建物及び構築物(純額) | 2,547 | 2,492 |
| 機械装置及び運搬具 | 1,826 | 1,839 |
| 減価償却累計額 | △1,567 | △1,590 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 258 | 249 |
| 土地 | 10,651 | 10,651 |
| その他 | 1,656 | 1,641 |
| 減価償却累計額 | △1,461 | △1,444 |
| その他(純額) | 195 | 196 |
| 有形固定資産合計 | 13,653 | 13,589 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 62 | 56 |
| その他 | 67 | 65 |
| 無形固定資産合計 | 129 | 121 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 8,460 | 8,472 |
| 長期貸付金 | 206 | 202 |
| 繰延税金資産 | 80 | 9 |
| 差入保証金 | 2,326 | 2,310 |
| その他 | 287 | 200 |
| 貸倒引当金 | △209 | △123 |
| 投資その他の資産合計 | 11,151 | 11,071 |
| 固定資産合計 | 24,934 | 24,782 |
| 資産合計 | 56,694 | 56,011 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 18,353 | 18,757 |
| 短期借入金 | 1,999 | 2,009 |
| 未払法人税等 | 1,127 | 42 |
| 賞与引当金 | 58 | 27 |
| その他 | 1,479 | 1,523 |
| 流動負債合計 | 23,018 | 22,360 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 23 | 13 |
| 繰延税金負債 | 477 | 502 |
| 退職給付に係る負債 | 639 | 645 |
| 役員退職慰労引当金 | 10 | 10 |
| 長期未払金 | 24 | 24 |
| その他 | 194 | 185 |
| 固定負債合計 | 1,370 | 1,382 |
| 負債合計 | 24,388 | 23,743 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,599 | 5,599 |
| 資本剰余金 | 5,588 | 5,588 |
| 利益剰余金 | 18,971 | 18,942 |
| 自己株式 | △876 | △876 |
| 株主資本合計 | 29,282 | 29,253 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,611 | 2,606 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 13 | 10 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,624 | 2,617 |
| 非支配株主持分 | 397 | 396 |
| 純資産合計 | 32,305 | 32,267 |
| 負債純資産合計 | 56,694 | 56,011 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 26,808 | 28,707 |
| 売上原価 | 25,314 | 26,910 |
| 売上総利益 | 1,493 | 1,797 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,571 | 1,565 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △77 | 232 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 3 | 2 |
| 受取配当金 | 109 | 116 |
| その他 | 47 | 57 |
| 営業外収益合計 | 160 | 176 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 3 | 3 |
| 為替差損 | 0 | - |
| その他 | 2 | 0 |
| 営業外費用合計 | 6 | 4 |
| 経常利益 | 76 | 404 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 2,354 | - |
| 特別利益合計 | 2,354 | - |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 0 | 0 |
| 特別損失合計 | 0 | 0 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,430 | 404 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 734 | 19 |
| 法人税等調整額 | 20 | 99 |
| 法人税等合計 | 754 | 118 |
| 四半期純利益 | 1,675 | 285 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △1 | 0 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,676 | 285 |

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 1,675 | 285 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △292 | △4 |
| 退職給付に係る調整額 | 3 | △2 |
| その他の包括利益合計 | △288 | △7 |
| 四半期包括利益 | 1,386 | 278 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,388 | 278 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △2 | 0 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,430 | 404 |
| 減価償却費 | 105 | 97 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △32 | △31 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | 21 | 2 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | 0 | 0 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 2 | △87 |
| 受取利息及び受取配当金 | △112 | △119 |
| 支払利息 | 3 | 3 |
| 有形固定資産除売却損益(△は益) | △2,354 | 0 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △219 | 47 |
| 棚卸資産の増減額(△は増加) | △91 | △266 |
| その他の資産の増減額(△は増加) | △196 | △15 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 267 | 403 |
| その他の負債の増減額(△は減少) | △60 | 99 |
| その他 | 76 | △69 |
| 小計 | △160 | 468 |
| 利息及び配当金の受取額 | 113 | 118 |
| 利息の支払額 | △3 | △3 |
| 法人税等の支払額 | △31 | △1,074 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △82 | △490 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △2 | △66 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 3,000 | - |
| 投資有価証券の取得による支出 | △2 | △1 |
| その他 | 6 | 4 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 3,002 | △63 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | △89 | 10 |
| 長期借入金の返済による支出 | - | △9 |
| 配当金の支払額 | △224 | △314 |
| その他 | △22 | △21 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △336 | △335 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 0 | 6 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 2,583 | △883 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 6,744 | 11,549 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 9,327 | 10,666 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 商事部門 | ホテル部門 | 不動産部門 | 計 | 調整額 (注1) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) |
|---------------------------|--------|-------|-------|--------|-------------|-------------------------------|
| 売上高 | | | | | | |
| (1) 外部顧客への売上高 | 26,520 | 227 | 59 | 26,808 | — | 26,808 |
| (2) セグメント間の内部売上高又は 振替高 | 3 | 0 | 13 | 16 | △16 | — |
| 計 | 26,524 | 227 | 72 | 26,824 | △16 | 26,808 |
| セグメント利益又は損失(△) | 317 | △245 | 58 | 129 | △207 | △77 |

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△207百万円には、のれん償却額△2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△205百万円等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・人事・経理・情報システム部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 商事部門 | ホテル部門 | 不動産部門 | 計 | 調整額 (注1) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) |
|---------------------------|--------|-------|-------|--------|-------------|-------------------------------|
| 売上高 | | | | | | |
| (1) 外部顧客への売上高 | 28,229 | 425 | 53 | 28,707 | — | 28,707 |
| (2) セグメント間の内部売上高又は 振替高 | 4 | 0 | 13 | 17 | △17 | — |
| 計 | 28,233 | 425 | 66 | 28,725 | △17 | 28,707 |
| セグメント利益又は損失(△) | 427 | △88 | 51 | 391 | △159 | 232 |

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△159百万円には、のれん償却額△2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△158百万円等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・人事・経理・情報システム部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

(1) 販売の状況

(単位：百万円、%)

| セグメントの名称 | 前第1四半期連結累計期間 (2021年4月1日から 2021年6月30日まで) | 当第1四半期連結累計期間 (2022年4月1日から 2022年6月30日まで) | 前年同期比 |
|-------------|---|---|-------|
| 食品（酒類・飲料含む） | 17,903 | 18,628 | 104.1 |
| 業務用商品 | 3,826 | 4,552 | 119.0 |
| 米穀 | 1,653 | 1,549 | 93.7 |
| 飼料・畜産 | 3,137 | 3,498 | 111.5 |
| 商事部門計 | 26,520 | 28,229 | 106.4 |
| ホテル部門 | 227 | 425 | 186.8 |
| 不動産部門 | 59 | 53 | 89.4 |
| 合計 | 26,808 | 28,707 | 107.1 |